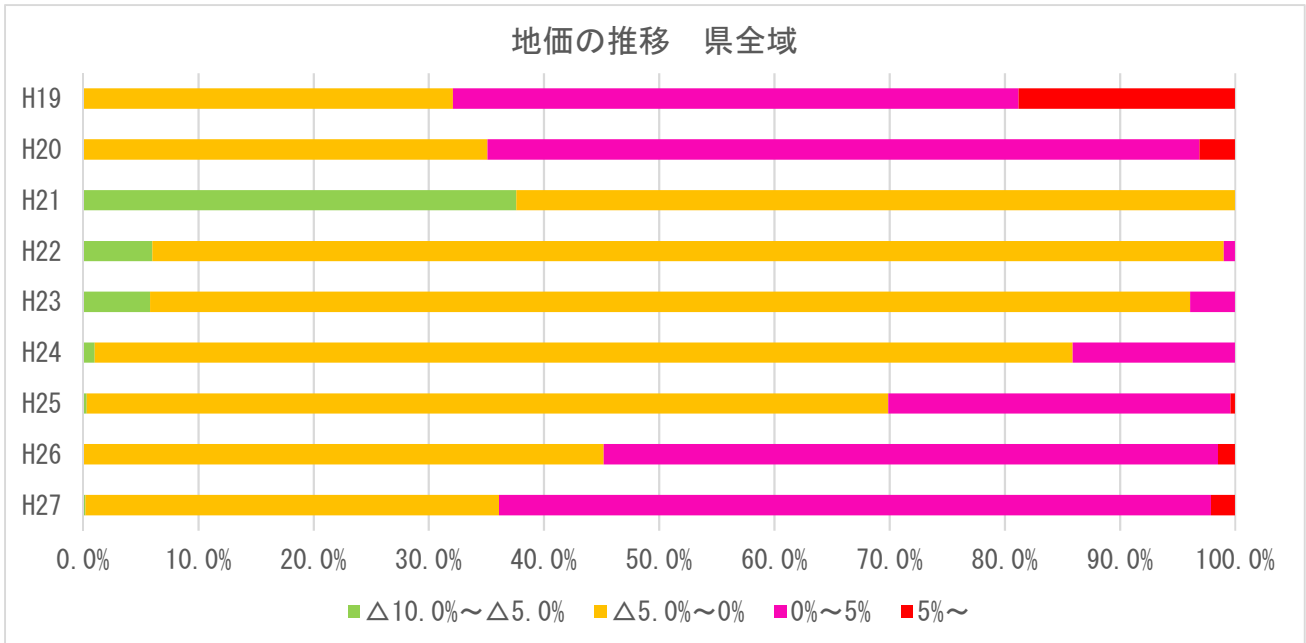


県全域及びゾーンごとの地価の推移

1 県全域の地価の推移

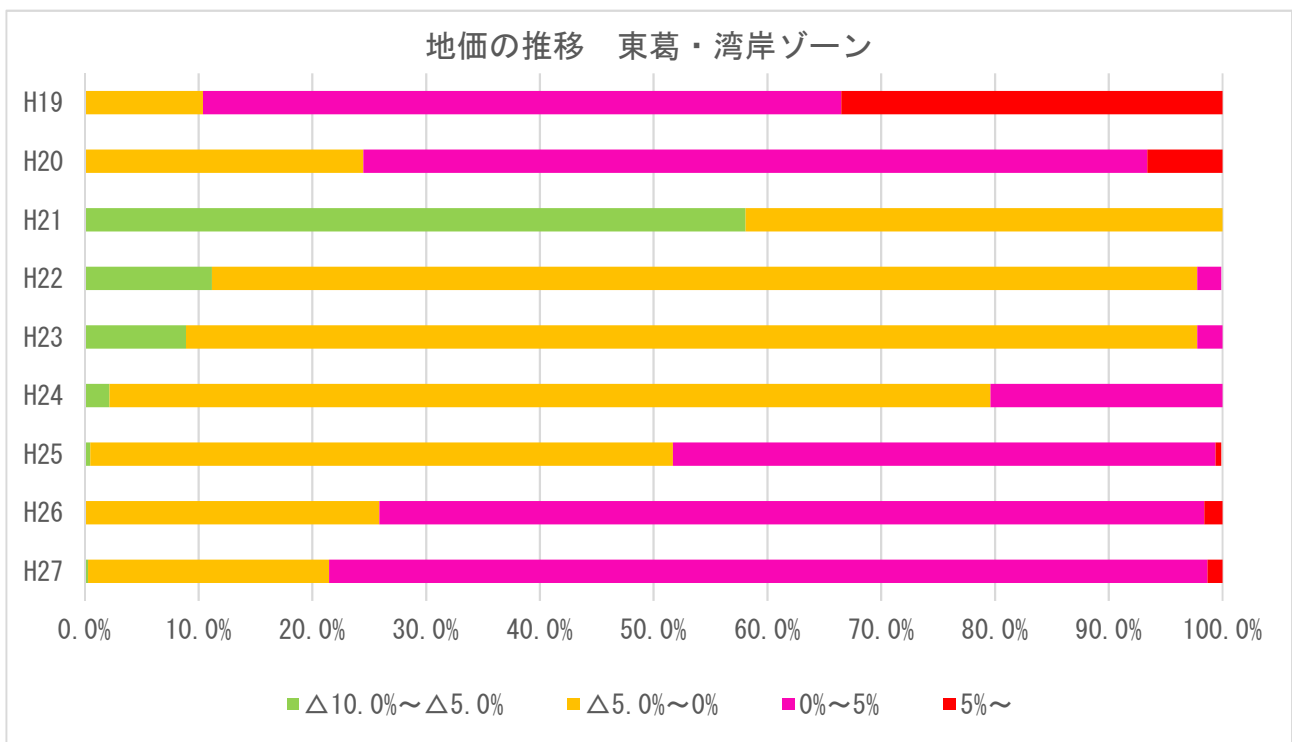
毎年実施している千葉県地価調査によると、平成 19 年、20 年は上昇地点数が過半数を占めていたが、平成 21 年は景気の悪化等を背景として全地点が下落となった。平成 22 年以降は上昇地点数が増加傾向に転じ、平成 26 年以降は過半数が上昇地点となっている。



2 ゾーンごとの地価の推移

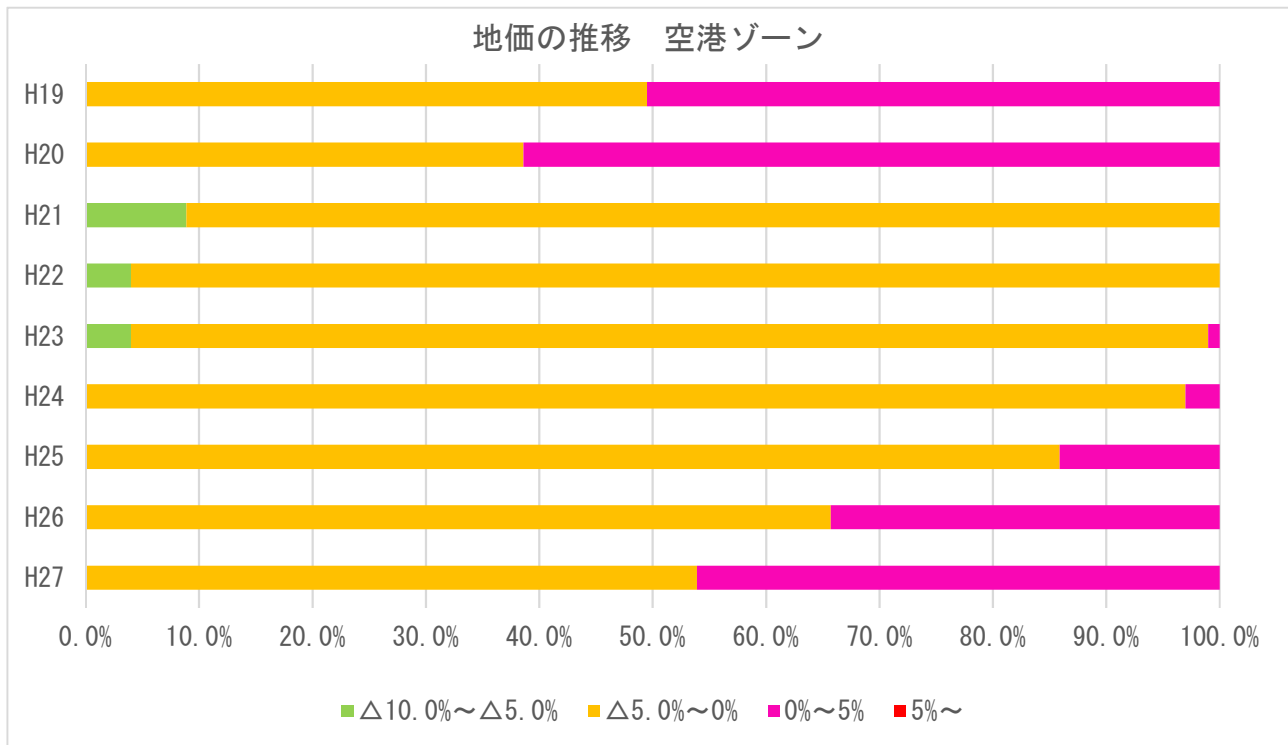
(1) 東葛・湾岸ゾーン

平成 19 年、20 年は上昇地点数が大半を占めていたが、平成 21 年は全地点が下落となった。平成 22 年以降は上昇地点数が増加傾向に転じ、平成 26 年以降は過半数が上昇地点となっている。



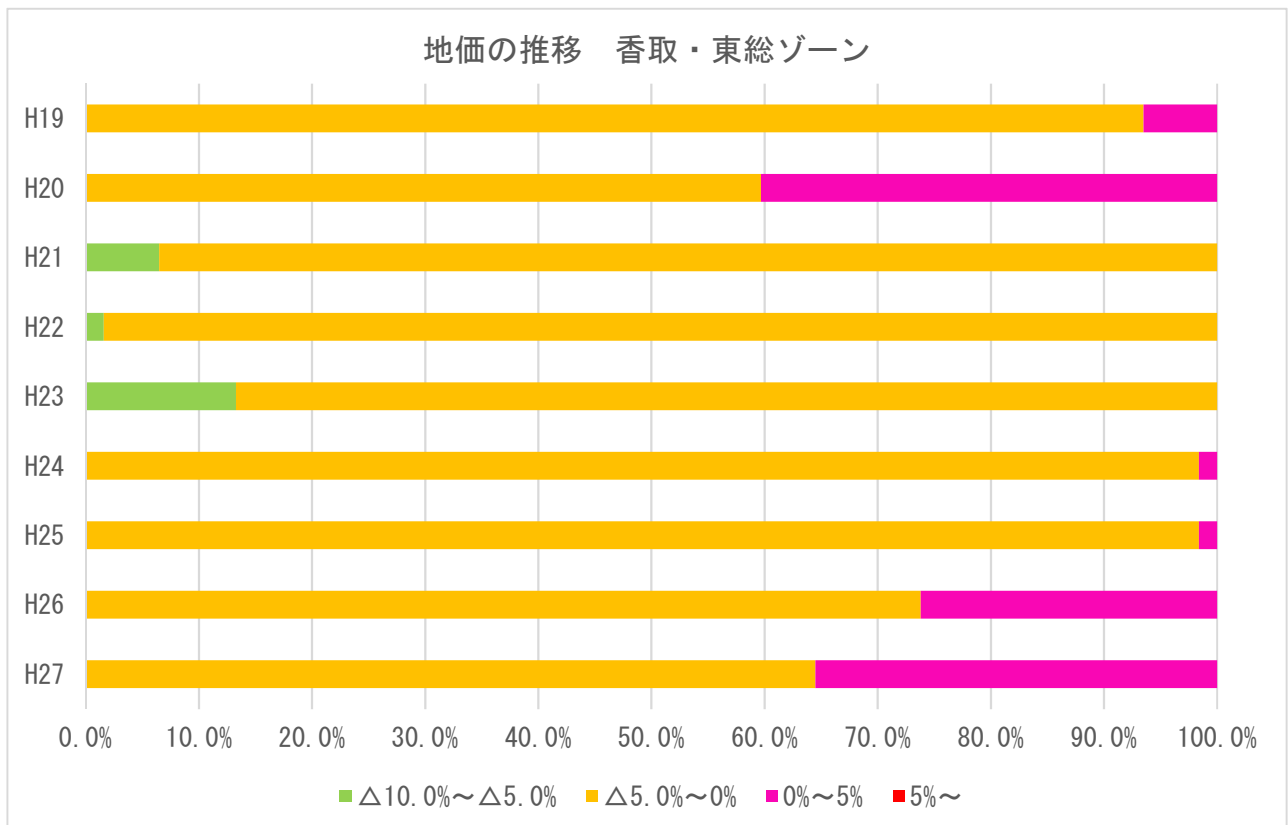
(2) 空港ゾーン

平成19年、20年は上昇地点数が過半数を占めていたが、平成21年に全地点が下落となった。平成23年以降は上昇地点数が増加傾向に転じ、平成27年は概ね半数が上昇地点となっている。



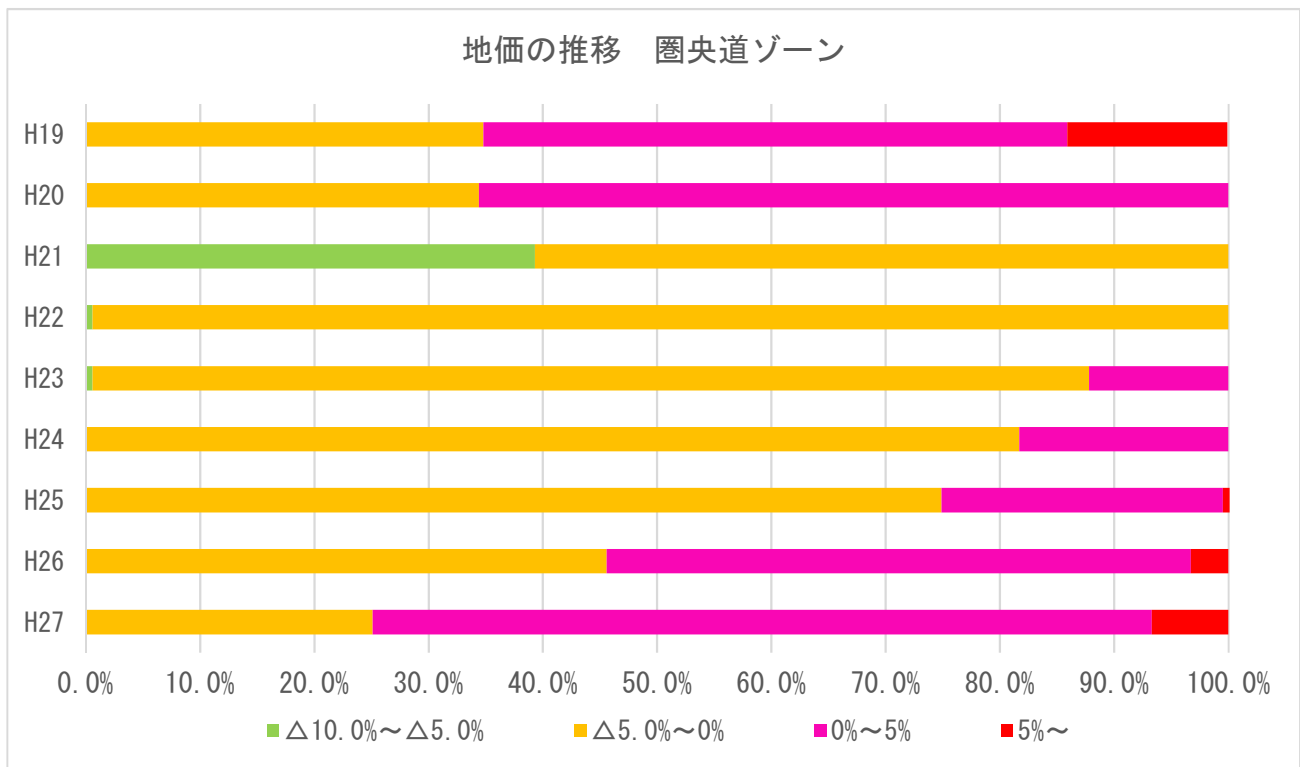
(3) 香取・東総ゾーン

平成19年、20年は上昇地点数があつたが、平成21年に全地点が下落となった。平成24年以降は上昇地点数が徐々に増加している。



(4) 圏央道ゾーン

平成19年、20年は上昇地点数が過半数を占めていたが、平成21年に全地点が下落となった。平成23年以降は上昇地点数が増加傾向に転じ、平成26年、27年は過半数が上昇地点となっている。



(5) 南房総ゾーン

平成19年、20年は上昇地点数が約4割あったが、平成21年に全地点が下落となった。平成26年以降は上昇地点数が徐々に増加しつつある。

